

平成30年度 第1回 新潟市立白根図書館協議会 議事概要

日 時： 平成30年7月3日（火） 午後1時30分～2時30分
場 所： 白根学習館2階 ルーム2
出席者： 新潟市立白根図書館協議会 大江会長、藤村副会長、阿部委員、近藤委員
齋藤委員、関根委員、星野委員、本間委員
事務局 松田白根図書館館長、伊藤主任、佐久間主査、大瀧主査

1 委嘱状の交付

委員の辞任により新たに協議会委員となった大江委員に委嘱状を交付。

2 会長選出

協議会委員の互選により、大江委員を会長に選出。

3 議事

(1) 平成29年度事業報告について

(事務局) 案件概要説明

(藤村委員) 「読み聞かせ講習会」は参加者が次につながっていてよい研修だと思う。予算が減っている中、限られたものを使って効果を出していくことが大切。今後も研修を受けた人がその後の活動や講習会へとつながるように声かけなどをしていってほしい。

(近藤委員) 南区の図書館はどういう分類の本が多く貸出されているかといったような資料はあるのか。

(事務局) 図書館要覧に図書館ごとの分類別貸出冊数を掲載している。要覧は図書館のホームページでも公開している。

(2) 平成30年度事業計画について

(事務局) 案件概要説明

(藤村委員) 図書館予算が年々減ってきているが、市として人口比で予算を決めているのか。それとも人口比とは関係なく、元々の予算から徐々に減らしているのか。

(事務局) 基本的には各区の状況を考慮しながら、年々少しずつ減らしてきている。

(近藤委員) 図書館予算が減ってきているが、今後図書館は民営化を目指しているのか。

(事務局) 図書館としては、指定管理などは社会教育になじまないと考えており、できるだけ直営または一部の業務委託という形でいきたいと考えている。

(阿部委員) 学校図書館支援センターには、白根地域独自の教育、地域教育を子どもたちへつなぐような支援をしていってほしい。

(事務局) 地域資料をいかに生かしていくかなどについては、まだまだこれから

の課題と思っている。

(藤村委員) 新潟市外から見ると学校に学校司書と支援センターが配置されているということはとても恵まれているが、もっと上を目指すために正規司書を増やすように図書館からも働きかけてほしい。

(大江委員) 学校図書館支援センターには、例えば様々な地域素材などを探すところを支援してもらって助かっている。予算が減っているなか、図書館や学校・地域から声を上げていただければと思う。

(3) 図書館評価について

(事務局) 案件概要説明

(評価は第2回図書館協議会で実施)

(4) その他

(事務局) 「新潟市立図書館雑誌カバー等広告事業」説明
(特に意見なし)

(本間委員) 図書館ではペットボトルの持ち込みは禁止なのか。

(事務局) 南区の図書館ではコミュニティオアシス実施期間は、熱中症予防のためふたのある飲み物は持ち込み可能としている。

(関根委員) 学習館に学生が勉強できるスペースがもっとあるとよい。

※図書館協議会終了後、マイクロバスで月潟図書館・味方地区図書室を見学(14:30～15:45)。

【事前配布資料】

次第

- 資料1-1 平成29年度 図書館・地区図書室の蔵書・利用状況
- 資料1-2 白根図書館概要
- 資料1-3 月潟図書館概要
- 資料1-4 味方地区図書室概要
- 資料2-1 平成29年度事業のまとめ(白根図書館)
- 資料2-2 平成29年度事業のまとめ(月潟図書館)
- 資料2-3 平成29年度 白根図書館学校図書館支援センター事業報告
- 資料3-1 平成30年度事業計画(白根図書館)
- 資料3-2 平成30年度事業計画(月潟図書館)
- 資料3-3 平成30年度 白根図書館学校図書館支援センター事業計画
- 資料4 平成30年度当初予算

【当日配布資料】

委員名簿

座席表

資料5 「図書館評価」について

資料6 「新潟市立図書館雑誌カバー等広告事業」について

【その他参考資料】

「子ども読書オープンカレッジ2018」チラシ

「平成29年度 味方地区図書室 図書まつり」チラシ

「新潟市学校図書館支援センター通信 合同版 No.13」